

祈りの友 第194号

2023年7月

子どもたちに福音を伝える



安田 豊

「私は福音を恥としません。福音は、ユダヤ人をはじめギリシャ人にも、信じるすべての人に救いをもたらす神の力です。」

ローマ 1:16 (新改訳 2017)

3回にわたって、出て行く伝道を学びました。その中で最も大切なことは、子どもたちに福音を伝えることです。そのためには、聖書から、「福音は子どもを含む、すべての人のためである」ことを私たちが確信している必要があります。私たちが子どもたちの前に立つとき、福音はこの子どもたちのものであると実感しているのでしょうか。パウロは深く理解していたので、「福音を恥としない。ぜひ福音を伝えたい」と語りました。イエス様は、マルコ 16:15で「全世界に出て行き、すべての造られた者に、福音を宣べ伝えなさい」と命じられました。福音は神に造られたすべての人のためのものなのです。

聖書から、4つの「すべての人に」ついて見ていきましょう。

第一は、神様は「すべての人」を愛しておられます。ヨハネ 3:16「神は…世を愛された。」世とはすべての人です。世界中の人々、大人も子どもです。神に愛されていない人は世界に誰一人いないのです。それは神様がすべての人を造られたからです。詩篇 139:13「あなたこそ、私の内臓を造り、母の胎の内で私を組み

立てられた方です。」母の胎の内で造られ、組み立てられたすべての人を、神様は心から愛しておられます。私たちの周りの人は、神様に愛されていることを知っていますか？ 子どもたちはどうでしょう？ もし誰からも愛されていないと思っているとしたら、本当に淋しく辛いことです。人間の愛には限りがあります。イザヤ 49:15「女が自分の乳飲み子を忘れるだろうか。自分の胎の子をあわれまないだろうか。」その後こうあります。「たとえ女たちが忘れても、このわたしは、あなたを忘れない。」神様は造られたすべての人を愛しておられ、忘れないと言われるのです。神様はすべての子どもたちを愛しておられます。

第二の「すべての人」は、「罪を犯した」すべての人です。ローマ 3:23「すべての人は罪を犯して、神の栄光を受けることができず」ローマ 3:9「すべての人が罪の下にあるからです。」罪を犯さない、罪の下にいない人はこの世界に誰もいません。言い換えるなら、すべての人が罪からの救い、福音を必要としているのです。子どもたちに罪とは何か、罪の例を上げ、分かりやすく話すと、子どもたちは正直に自分が罪を犯したことを話してくれます。なかには深刻な罪を告白する子どももいます。すべての人は、罪のゆえに神様の栄光を受けられなくなっているのです。そして、罪からの報酬は死です。

私が CEF の児童伝道学院で学んだ時、指導してくださった先生がこう言われました。「子どもの外側ではなく、内側の心、魂の叫びを聞きなさい。子どもたちは、『私を罪から救ってください。』と叫んでいるのです」と。使徒 16:9 にマケドニアの叫びがあります。「マケドニアに渡って来て、私たちを助けて下さい。」私たちは、罪の下にあるすべての人の魂の叫

びを聞いているのでしょうか。すべての人が罪におののき、「私たちを助けて下さい」と苦しみ、叫んでいるのです。

第三の「すべての人」は、キリストがすべての人のために死なれたことです。Ⅰテモテ 2:6「キリストは、すべての人の贖いの代価として、ご自分を与えて下さいました。」ここに、「キリストはすべての人のために、ご自分を与えられた」と書かれています。キリストがその人のために死ななかった人は、この世界に誰一人いないのです。もちろん、子どもたちもです。他の宗教を信じている人も含まれています。私は他の宗教を信じる家に生まれ育ちましたが、18才の時にイエス様を信じて救われました。私の名前は安田ですから、友だちから「やっさん」と呼ばれていました。クリスチャンの友人が、「やっさん、自分に罪があるのが分かるか」と私に問いかけ、私は18才まで禁じられていた事をすべてしていたので、それを思い出しながら、「わかる」と答えました。その時に彼は、「やっさんの罪のために死んでくれた人がいる」と言いました。私は生まれて初めて、私のために、それも私の罪のために死んでくれた人がいることを聞き、その時、聖霊様が私に働いてくださり、不思議な感動を覚えました。「それが本当だったら信じないといけない」と心から思ったのです。私たちは子どもを含むすべての人に、「あなたの罪のためにキリストは死なれた」と伝えるべきなのです。

四つ目は、冒頭のみことばに出て来る、「信じるすべての人」です。福音は「信じるすべての人に救いをもたらす神の力です。」このみことばの約束を注意深く見て下さい。ここでは、すべての人が救われると言っていません。「信じるすべての人」が救われるのです。福音には応答が必要です。信じると応答したすべての人

を救うことができるのです。

神様はすべての人を愛しておられます。すべての人は罪を犯しました。キリストはすべての人のために死なれました。神様は、信じるという応答をしたすべての人を救うことができになるのです。信じるという応答のためには福音を聞く必要があります。ローマ 10:17にあるように、「信仰は聞くことから始まる」からです。聞くためには、福音を伝える人が必要です。私たちに口が与えられている理由は、福音を語るためです。聖書の教える「すべての人」を思い、私たちの周りの人々、子どもたちに福音を伝えていきましょう。信じるすべての人を救う力が、福音にはあるのです。アーメン!

(日本 CEF・やないグレースチャペル牧師)



北海道

CPC セミナー (クリスマス準備会)

日程：9月23日(土)

① 10:30 から 12:00

② 13:00 から 14:30

会場：札幌新生教会



日本 C E F (日本児童福音伝道協会)

〒311-3434 茨城県小美玉市栗又四ヶ 2421-6

TEL 0299(28)2031 Email : japancef@cef.or.jp

HP : <https://www.cefjapan.com>

献金振替 00160-1-59313

(宗) 日本児童福音伝道協会